2026年度　町田市立つくし野小学校　学校経営計画・学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

令和8年3月31日

学校教育目標　　「よく考える子」「元気な子」「助け合う子」	学校経営の重点　①子供が安心して通える学校を作る　②授業を充実させ、学力及び体力向上を図る　③教育活動の質を向上させる学校経営の重点
○目指す学校像・・・・・・・・①自他を大切にし、互いに認め合える子どもが育つ学校（みんなで育つ　共生）②自ら考え、判断し、行動できる子どもが育つ学校（みんなが伸びる　自立） ○目指す児童・生徒像・・・ふるさと　つくし野を大切にする子ども ○目指す教師像・・・・・・・・①教育者としての高い志をもった教師　②同僚と協働できる教師　③新たな価値を生み出せる教師	重点目標の成果と課題

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	教育活動の質を向上させる。（カリキュラム・マネジメントの確立　他）	カリキュラム・マネジメントを推進し、教育活動と経営活動を活性化させる。「いいと思ったら、すぐ改善」を推進していく。	4　教職員アンケート「いいと思ったらすぐ改善」を毎回必ず実施した。 3　2回に1回はした。 2　3～4回に1回はした。 1　実施しなかった。			A　保護者アンケート「学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答55%以上 D　肯定的回答55%未満						
		教員の働き方改革を推進する。	毎週マイ定時退勤日を定める。その退勤日は教員が「第○週△曜日」と設定する。 定時退勤者の札の作成、職員室に掲示する。	4　毎週マイ定時退勤日設定者割合100%達成率100% 3　毎週マイ定時退勤日設定者割合80%達成率80% 2　毎週マイ定時退勤日設定者割合70%達成率70% 1　毎週マイ定時退勤日設定者割合70%未満達成率70%未満			A　定時退勤日達成割合80%以上の教職員割合が80%以上 B　定時退勤日達成割合80%以上の教職員割合が70%以上 C　定時退勤日達成割合80%以上の教職員割合が50%以上 D　定時退勤日達成割合80%以上の教職員割合が50%未満						
			毎月の全教職員の定時退勤日を「第○週△曜日」と決める。決定日は学校年間計画表に記載する。	4　定時退勤日100%、教職員退勤100% 3　定時退勤日80%以上、教職員退勤80%以上 2　定時退勤日70%以上、教職員退勤70%以上 1　定時退勤日70%未満、教職員退勤70%未満			A　定時退勤日の達成割合100% B　定時退勤日の達成割合80%以上 C　定時退勤日の達成割合70%以上 D　定時退勤日の達成割合70%未満						
確かな学力の育成	**子どもが主体的に学び、教師が導く**授業**改革**を進め、**主体的・対話的で深い学びを実現することで、**基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等**とともに学び続ける力**の育成**を図る。**	児童の主体性を大切にしながら学びを進められる授業づくりをする。	学びの基本を「学ぶ意欲」と捉え、「できた」「わかった」という学ぶ喜びを感じる指導を継続していく。	4　毎時間取り組んだ。 3　80%以上の時間で取り組んだ。 2　70～79%の時間で取り組んだ。 1　取り組んだのは70%未満だった。			A　保護者アンケート「お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
			「返事をする」「めあてをもつ」「振り返りをする」「根拠をもつ」など、授業での学習習慣を定着させる。	4　毎時間取り組んだ。 3　80%以上の時間で取り組んだ。 2　70～79%の時間で取り組んだ。 1　取り組んだのは70%未満だった。			A　保護者アンケート「お子様は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
		授業改革を進め、学び続ける力を高める。	学習形態を工夫し、多様な選択肢の中から個に応じた学習を進められるような授業づくりをする。	4　毎時間取り組んだ。 3　80%以上の時間で取り組んだ。 2　70～79%の時間で取り組んだ。 1　取り組んだのは70%未満だった。			A　保護者アンケート「お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
			児童同士が互いに情報を共有しながら授業ができるように、ICTを活用した授業づくりをする。	4　毎時間取り組んだ。 3　80%以上の時間で取り組んだ。 2　70～79%の時間で取り組んだ。 1　取り組んだのは70%未満だった。			A　保護者アンケート「お子様は、ICT（学習機器）を積極的に活用している」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	いじめ・不登校対策を徹底し、子供が安心して通える学校をつくる。	「つくし野小学校いじめ防止基本方針」を基に、いじめ防止校内委員会の活動を充実させ「いじめ見逃しゼロ」を実現する。また「不登校ゼロ」を目指す。	4　こころのアンケート実施後、気になる児童と毎回必ず面談を実施した。 3　2回に1回は実施した。 2　3～4回に1回は実施した。 1　ほとんど実施しなかった			A　保護者アンケート「学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を人権を大切にしている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
			スクールカウンセラーや巡回心理士の助言を仰いだり、ケース会議を開催し情報共有したりして、即座に対応できる校内体制を強化していく。	4　気になる児童について、関係者に必ず報告・相談をした。 3　2回に1回は報告・相談をした。 2　3～4回に1回は報告・相談をした。 1　ほとんど報告・相談をしなかった。			A　保護者アンケート「学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を人権を大切にしている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
		人権教育・道徳教育・生命尊重教育を軸に豊かな心を育む。	人間尊重を基盤とした人権教育の充実を図ることで、差別や偏見をもつことを許さない姿勢を育てる。	4　「概ねできた」と回答した教員100% 3　「概ねできた」と回答した教員80%以上 2　「概ねできた」と回答した教員60%以上 1　「概ねできた」と回答した教員60%未満			A　保護者アンケート「学校は、道徳教育をはじめとした教育活動全般で、人権教育・生命尊重教育に取り組んでいる」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
			道徳授業や学級指導を通じて、生命尊重にかかわる指導を推進し命あるものを大切にする心を育てる。	4　「概ねできた」と回答した教員100% 3　「概ねできた」と回答した教員80%以上 2　「概ねできた」と回答した教員60%以上 1　「概ねできた」と回答した教員60%未満			A　保護者アンケート「学校は、道徳教育をはじめとした教育活動全般で、人権教育・生命尊重教育に取り組んでいる」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する.	安全への意識を高めるための安全教育を推進する。	通学路を守っての登下校の励行、正しい歩行の仕方などを日常的に指導し、児童の交通安全に対する意識と実践力を高める。	4　「概ねできた」と回答した教員100% 3　「概ねできた」と回答した教員80%以上 2　「概ねできた」と回答した教員60%以上 1　「概ねできた」と回答した教員60%未満			A　保護者アンケート「お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
			不審者への対応として、危機管理マニュアルを意識した教職員の共通理解を図り、統一した安全指導を進める。	4　「概ねできた」と回答した教員100% 3　「概ねできた」と回答した教員80%以上 2　「概ねできた」と回答した教員60%以上 1　「概ねできた」と回答した教員60%未満			A　保護者アンケート「お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
		学校生活をより充実させることができるよう、規範教育を進める。	「つくし野スタンダード」を生かし、学習や生活のルールを明確に示し、周知徹底させる。学校のルールを守らせて、安全に、安心して生活をさせていく。	4　「つくし野スタンダード」の取組状況を児童に毎月振り返らせた。 3　2、3か月に1回振り返りをさせた。 2　半年に1回程度振り返りをさせた。 1　ほとんど振り返りをさせなかった。			A　保護者アンケート「お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている」肯定的回答80%以上 B　肯定的回答70%以上 C　肯定的回答60%以上 D　肯定的回答60%未満						
その他													

取組指標の評価基準（結果数値からABCD評価へ）

取組指標平均　3．5以上	⇒	評価A
取組指標平均　3以上3．5未満	⇒	評価B
取組指標平均　2以上3未満	⇒	評価C
取組指標平均　2未満	⇒	評価D

※　学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。

成果指標評価基準

成果指標平均　80%以上	⇒	評価A
成果指標平均　70%以上	⇒	評価B
成果指標平均　55%以上	⇒	評価C
成果指標平均　55%未満	⇒	評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒	取組・成果ともに十分評価できる
B⇒	取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒	目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒	重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※　学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。